

第14回 糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和6年9月26日(木) 10時00分から
- 2 会場 糸魚川市役所 201・202会議室
- 3 出席委員 教 育 長 齋藤 修一
教育長職務代理 谷口 一之
委 員 齋藤 里沙
委 員 楠 愛
委 員 秋山 伸宏
- 4 委員以外の出席者
教育次長 山本喜八郎
こども課 課 長 室橋 淳次 課長補佐 田村 公一
管理係長 田代 正人
こども教育課 参 事 小川 豊雄 課長補佐 関澤 仁
係 長 植木 靖英
生涯学習課 課 長 磯貝 恭子 課長補佐 本間 正之
文化振興課 課 長 嵐口 守 課長補佐 榊 正喜
博物館 館 長 竹之内 耕
書記 こども課主査 上原 奈穂
- 5 報 告
報告第 46号 感染者の確認に伴う休校等について

報告第 47号 令和6年度糸魚川市立学校共通評価項目の第1学期末評価について

報告第 48号 糸魚川市中学校部活動指導員の委嘱について

報告第 49号 各課・機関所管事項について
- 6 付議案件
議案第 28号 糸魚川市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について
- 7 会議録署名委員の指名 4番 秋山委員
- 8 傍聴者 0人

教育長	令和6年第14回教育委員会定例会を開会する。 報告第46号感染者の確認に伴う休校等について、事務局の説明を 求める。
こども教育課参事	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	質疑なしと認め、報告第47号令和6年度糸魚川市立学校共通評価 項目の第1学期末評価について、事務局の説明を求める。
こども教育課参事	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
谷口委員	中学生の家庭学習は以前から課題となっている。スマホの話があ ったが、どこの家庭でもゲームをしたり、スマホをかまったりする 時間が多いと思うが、小学校では低学年のころから宿題が出され、 ある程度の家庭学習の時間が確保されている。中学校の現状はどう か。家庭学習習慣をつけるために自分で課題を見つけて行っている と思うが、あまりにも少ないと進学の問題や、学力の課題がどうし ても出てくるので、中学校でもある程度の課題を出すべきではない か。小学校からの習慣付けが大事だが、中学校へ行ってからの学習 が本当の基礎になる。学校ごとの考え方もあるし、教育委員会とし て校長会等でも話をしていると思うが、大事な課題なので、強制で はないにしても、最低限確保するための対策はあるか。子どもに任 せておくだけでは厳しいのではないか。
教育長	積年の課題で小学校での家庭学習習慣が、中学校に行った途端に 途切れてしまう。家庭学習に関わる時間数が大きくダウンする。今 までは、中学生になると部活動が盛んになるので、体力的にも時間 的にもやりくりが困難になり、その上で家庭学習を行うのは難しい のではないかと対応してきたが、現在は部活動の見直し、改善がさ れて、先生方の働き方改革に伴って、部活動にかける時間等も昔か ら比べると、ダウンしている。それなのになぜつながらないのか。 一貫教育的に家庭学習の発達段階に応じた流れが、なぜ中学校で途 切れるのかという話は校長会等で出ているか。
こども教育課参事	中学生のスマホやタブレットの視聴時間が伸びているということ は先生たちの実感としてある。以前はゲームだったが、現在は動画 サイトで子どもたちが延々と見続けられてしまう。生活習慣、それ からネット利用のモラル、道徳的な面も含めて様々な面から指導し ていく。また、特に中学生においては、自分の将来、キャリアをど のように考えていくかも大事になってくるのでそこも併せて指導し ていく必要があると中学校長と話している。
秋山委員	スマートフォンの問題は全国的な傾向だと思うが、糸魚川市は特 にそれに関わる時間が多くて、そのために家庭学習ができないのか、

こども教育課参事	<p>それともやっぱり全国並みなのか、そのあたりはどうか。</p> <p>今はデータを持ち合わせていないが、糸魚川市はスマホを持っている子どもがある程度いて、勉強よりもそっちの誘惑に負けてしまう子どもが多いと感じている。</p>
秋山委員	<p>進学とか将来の夢に対するモチベーションが下がっているから学習に対する意欲が減少傾向になっているならば、スマホの時間が多い少ないという物理的な原因ではない。校長先生がそれを要因として判断されているならそうではない。子どもたち自身の進学等におけるモチベーションの低下がここに数値として現れているのなら心配だと思う。</p>
教育長	<p>これは市全体の結果から見られる傾向に対する分析だが、学校ごとの実態も明らかになっているので、学校として分析をしながら、工夫改善している。この実態はどのように保護者に伝えているか。保護者は家庭学習と直結するので、子どもたちへの指導、スマホの管理については保護者がどのようにこの実態を受け止めるかが非常に大事だと思う。この結果をどのように家庭や保護者に返しているのか。</p>
こども教育課参事	<p>学校はこの共通評価項目の結果について、学校だより等で保護者に周知している。学校だよりは校長が執筆して、保護者に呼びかけをしている。</p>
教育長	<p>学級懇談や学年懇談など保護者が集まって子どもたちとの関わり方を話し合う場面において、保護者としてどういう関わり方をして、改善策を子どもたちへの指導にどう生かすべきかをもっと議論してもらいたい。</p>
こども教育課参事	<p>学校だより等で保護者に情報提供はしているが、そこで議論を深めているかという学校によって差はある。校長先生に保護者と情報共有、そして子どもたちの課題として、学校の課題として、どのように改善していくかを話し合ってもらいたいとお願いしていきたい。</p>
教育長	<p>特効薬はなかなかないが、問題意識を持ってもらうことが大前提だと思う。改善をしていくには家庭の力が大きい。校長会を通して働きかけをしたり、教育懇談会等でこういったテーマを話題にしたり、機会をとらえて課題解決に取り組んでももらいたい。</p>
谷口委員	<p>学力についても二極化していると思う。塾に行っている程度の時間を確保して親も含めて一生懸命取り組んでいる家庭と、そうではなく自由にやらせている家庭がある。やる子はやるが、あまり努力できない子は力を伸ばせられない。学校は一人ひとり丁寧な見取りをして、差がつかないようにしてもらいたい。学校だけではなく、家庭、地域も一緒になって考えてもらいたい。</p>
秋山委員	<p>学校評価については全学年、全学校で公開していると話があった</p>

が、確認をしてもらいたい。年2回の評価を年何回公開しているか、学校だより等で保護者には出しているが地域には出していないなど、統一する必要はないと思うが、協力体制を得るためにも実態を確認する必要があるかもしれない。

こども教育課参事
齊藤委員

学校に照会する。学校ごとの評価を周知するように依頼する。

保護者からすると家庭学習がどういった位置付けで大切なのか理解できていないかもしれない。授業が分かるという設問の肯定率がとても高く、学校も楽しんで行っている。学校でしっかりやっていたら、家ではリラックスをして、その分学校で頑張っておいでと考えている保護者もいるのではないか、ほかにもスポーツに打ち込んでいる子どももいると思うが、それは家庭学習には入らない。ただ、学年×10分家庭学習をすることが子どもの成長にとってどう大切なのか保護者に理解されれば促すこともあると思う。保護者に意味を伝えることが足りていないかもしれない。

楠委員

このアンケートは誰が答えたか分かるようになっているのか。無記名アンケートとなっているのか。

こども教育課参事
楠委員

基本的には無記名だが、学校ではある程度把握している。

「学校にいじめや暴力がない」という設問に対し、「はっきりイエ」と回答している数が一定数ある。毎月いじめの報告が上がっているので、あることは理解しているが、学校が認知していない子どもがイエと回答した場合、特定できる状況か。

こども教育課参事

アンケートの形式は各学校の学期末に行うアンケートに共通評価項目として入れるように依頼をして実施している。担任は概ね把握している。

教育長
委員

ほかにご質疑はないか。

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、報告第48号糸魚川市中学校部活動指導員の委嘱について、事務局の説明を求める。

こども教育課参事
教育長
委員

(資料に基づき説明)

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、報告第49号各課・機関所管事項について、事務局の説明を求める。

こども課 所管事項報告

こども教育課 所管事項報告

生涯学習課 所管事項報告

文化振興課 所管事項報告

図書館 所管事項報告

博物館 所管事項報告

市民会館 所管事項報告

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

秋山委員

教育に関する事務の点検及び評価が予定されているが、時間が9時からとなっているが、案内は9時30分からではなかったか。

こども課管理係長

9時30分が正しい、訂正する。

齊藤委員

未来のパパママ応援事業は、以前は赤ちゃんふれあいスクールとして実際にお母さんと赤ちゃんが来てくれて実施していた。コロナで中断していたと思うが、今後はどのように考えているか。

こども課長

各中学校の要望に応じて対応している。コロナ前は実際に赤ちゃんを抱っこしてもらって体験してもらっていたが、今は赤ちゃん人形や妊婦体験ができるボディースーツを着用する体験活動をしている。最近は子どもの数も減少していて、協力いただける赤ちゃんも以前より少なくなっている。ただ、実際の赤ちゃんを抱くのと人形を抱くのでは大きな違いがあるので、担当と検討をしていく。

齊藤委員

赤ちゃんとお人形は全く違うので、実際には泣いてどうしようもないという場面もあり、自分もこうしてもらったんだと実感することも大切だと思うので、少し勿体なさを感じる。赤ちゃんが少ないのであれば、デイケアに参加されている方に声をかけてもいいと思う。お母さんにとってもすごくいい事業で、中学生にかわいがってもらうことがリフレッシュになったり、自分の子どもが大きくなったらこういう感じなのかなと未来を思ったりすることもある。前向きに検討いただきたい。

秋山委員

根知山寺の延年の参加者が少なくなったと報告があったが、存続が難しくなるのではないかと。ほかにも国の指定文化財の行事があるが、市としての関わり方を教えてもらいたい。

文化振興課長

国の指定文化財に対して市が行事自体をコントロールすることはできない。ホームページや広報に掲載するなど周知はできる。いろいろな相談をもらうことはあるが、まずは地元の活動をその地区だけでなく、広げることが大事だと思う。

秋山委員

国指定は様々な条件があり、その中で実施をすることが現在の人口減や高齢化の中で非常に厳しい状況にある。市としてサポートをしなければ継続が難しく、国の指定文化財等がなくなってしまうのではないかと危惧する。

文化振興課長

文化財はつなげていかなければならないが、人口減の問題等でどうしても存続が難しくなる時期がくると思う。ただ、その前にやるべきこともあり、今年はSNSを使って情報発信をしている。これは市外の方に対してだけではなくて、市内の仲間同士でやり取りする目的も含まれている。そういったものを活用して、糸魚川市のホームページに掲載して紹介している。そういった連携の協力はいく

らでもできる。取り組んでいる方とすれば何とか続けたいという気持ちだが、市ができることにも限界があるが、協力できることはやっていきたい。あとはクラウドファンディングを検討される場合は技術協力はできる。ただ、どうしてもやむを得ない状況は出てくる。そのときはアーカイブ、デジタルブックとして残すのも手段だと考えている。いずれ復活する可能性もあるのでそういった取組をやっていきたい。何段構えかでやっていく必要がある。

谷口委員

根知小で勤務をしていたこともあり、山寺の延年はずっと見てきた。子どもが減っているが、教え子の中には残って祭りをやっている子もいれば、大学生でも戻ってきて練習をして参加をしている子もいる。根知にいなくても市内、市外に関係者がたくさんいる。そういったつながりで保っていると思うが、若い人たちが一生懸命やっている。子どもに教えてもらった祭りの大切や、地域と関わったことは忘れないので、そうやって育てていくことが大事だと思う。地域の高齢者は将来を考えて不安だという話は聞くが、いろんな支援の方法があるので残すために考えていきたい。

教育長

社会の変化、状況の変化に応じてどのように継続していくかは、これからも必ず出てくる問題である。教育委員会として、文化振興課としてできる応援、行政として支援できる範囲はどの程度でどういった内容なのか。そのために何をすべきかを問題意識を持ってこれからやっていく必要がある。

谷口委員

各学校の周年事業や合併20年の記念式典が予定されていて、式典の持ち方や内容はそれぞれの学校でやり方があると思うが、昔は祝賀会が予定されていた。今は保護者や地域の方に負担にならないようにあり方が変わってきていると聞くが、実際はどうか。

こども教育課参事

本年度は記載されている学校のほかに大和川小学校の150周年と糸魚川東中学校の創立30周年が予定されている。基本的に小学校は文化祭と式典がセットになっていて、その後会場を変えて祝賀会を行う学校が3校あり、祝賀会はしないという学校が1校ある。中学校は記念式典、記念講演会を行い、祝賀会を行わないと聞いている。昔は祝賀会がセットだったと思うが、最近は祝賀会をしない学校も多少増えている。

楠委員

保育園のあり方検討会が行われたが内容を詳しく聞きたい。市はどのように説明して、役員会の反応はどうだったのか。

こども課長補佐

役員の方に集まってもらったが、まだ具体的な話ができない状況なので、少子化の中で子どもの数の推移を学区ごとに示したり、国の基準として園を維持するには60人ぐらいの園児数がないと難しいとかそういった数字を示しながら懇談をした。参加された保護者の反応は地域によっても若干違うところがある。青海地域は公立の幼稚園が2園、公立の保育園が1園あり、より良い保育環境を求め

る声や、保護者会で現状を共有したいという意見が多かった。直接的には園のあり方とは関係のない保護者会の部分の情報共有が多かった。糸魚川地域の連絡協議会では、能登半島地震の影響もあり、施設の老朽化に関することや、津波が来たときに園児を避難させるのが難しいのではないかとといった話もあった。ここでも保護者会として今後どうあるべきなのかという話があったが、この園とこの園と一緒にしようとか、分けたほうがいいのかそういった話は一部の保護者からあったが、それほどではなかった。

楠委員
こども課長

市からは統合といった話を出していないのか。

今回は市の現状、出生数や国の基準、平均的な園の運営基準を示した。市では、園の適正配置、民間による運営を今後の検討課題として考えていくことを示した。その後懇談をしたが、糸魚川地域の公立の連絡協議会はコロナもあり、総会自体が3年ぶりに開催されたこともあり、本来私たちが求めていたような部分の話には至らずに、保護者会の運営自体が大変だとかそういった話が多かった。

教育長
委員
教育長

ほかにご質疑はないか。

(「なし」の声あり。)

質疑なしと認め、付議案件に入る。議案第28号糸魚川市いじめ問題専門委員会の委員の委嘱について、事務局の説明を求める。

こども教育課参事
教育長
委員
教育長

(資料に基づき説明)

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

(「なし」の声あり。)

ご質疑なしと認め、採決に入る。

議案第28号について、ご異議はないか。

委員
教育長

(「異議なし」の声あり。)

異議なしと認め、承認する。

原案のとおり承認

次回教育委員会定例会開催

令和6年10月23日(水) 10時から

その他

文化振興課長

11月23日土曜日にヒスイシンポジウムが開催される。長者ヶ原考古館30周年記念事業のうちの1つで、去年は木地屋の里シンポジウムを開催した。今回はヒスイの加工の仕方について全国各地から発表者が来て話をしてくれる。翌日曜日は30名限定でフォッサマグナミュージアム、長者ヶ原考古館を1時間ずつ学芸員の解説付きで行う特別の見学会を予定している。

教育長

23日は午後から早寝早起きおいしい朝ごはん公開講座が開催される。教育委員からも都合をつけて出席いただきたく、日程を早めに

お知らせした。

以上で、令和6年第14回教育委員会定例会を閉会する。

11:25 終了